



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは

こうへい  
**山田耕平**  
です

2025.6.5 No.534

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください！

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

右QRコードを  
ご活用下さい



## 第二回定例会で一般質問 都市計画道路と外環道について 都市計画道路は住民主体での検討を

6月2日(月)、杉並区議会第2回定例会が開会しました。本会議初日に一般質問に立ち、都市計画道路と外環道問題について取り上げました。

### 都の情報公開姿勢の改善を



東京都において新たな「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」の検討が進められていますが、断片的な情報しか明らかにされず、資料等も示されていません。

住民生活にも大きな影響を与える都市計画道路の検討にあたっては、住民への情報公開を徹底することが求められます。東京都の情報公開の取り組み姿勢は後ろ向きであり、杉並区の情報公開の姿勢とは大きな乖離があります。

質問では、東京都に対して、区から改善に向けて意見を上げているのか質したところ、区は検討内容や方針策定までのスケジュールに関する情報提供を東京都に求めていること、パブリックコメントだけでなく計画検討段階で住民意見が反映できる仕掛けや手法を取り入れるよう要望していると答弁しました。

### 人口・交通量の減少続く 住民意見反映した見直しを

他県他都市をみると、長期にわたり未整備となつていく都市計画道路は大幅に見直し・廃止が進み、新規の大型道路予算を大幅に削減する流れが生まれています。一方、東京都では、豊富な財力を背景に都市計画道路の見直しがほとんど進んでいません。

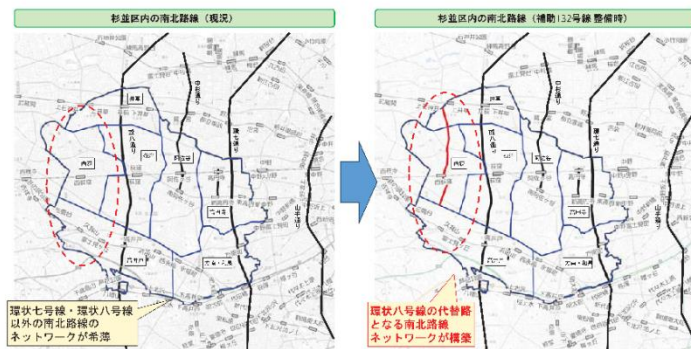
## 杉並区の都市計画道路効果検証結果

西荻地域補助132号線抜粋

### 効果11【活力】：南北路線の強化

補助132号線

※補助132号線の整備により、環八通りの代替路となる南北路線ネットワークが構築されます。



補助132号線は、これまでの「神明通り」から「五日市街道」まで延伸した場合の整備効果となっており、これまでの前提とも大きく異なっている。地域への影響も大きく、道路整備の実現可能性は著しく低下する状況。

### 文化や地域コミュニティ等 仮称デザイン会議等で評価を

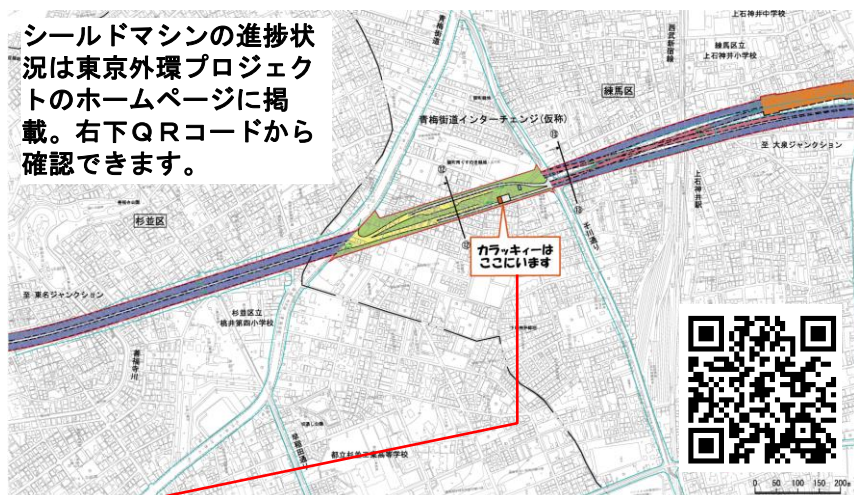
杉並区独自の指標による都市計画道路の効果検証の結果が公表されましたが、区内を南北に縦断する道路の整備効果が高くなっています(右図)。

一方、効果検証では、地域の文化や街並み、地域コミュニティ等が喪失するリスク等は評価することが出来ず、その点を評価するよう質問しました。岸本区長は、区民生活にとって大切なテーマについては、沿道地域の(仮称)デザイン会議等で議論していただくと答弁しました。

## 第二回定例会で一般質問（続き） 外環道計画について

# 23名の議員要請受け相談窓口と説明会検討

シールドマシンの進捗状況は東京外環プロジェクトのホームページに掲載。右下QRコードから確認できます。



### ■「北行カラッキイー」の進捗状況

- ・ 杉並区の大部分は練馬区側シールドマシンが掘進。
- ・ 1日当たり5メートルほどのペースで掘進していたが、4月17日から現在（6月5日）まで、22メートル掘進。事業者は地盤の影響と説明している。

「特殊な地盤」とは固い礫を含む地盤のことで、一般的に存在しているものですが、この地盤と同様に追加ボーリング調査が必要となった類似地盤は杉並区西荻北4丁目にも存在します。その付近は横連絡杭工事を実施することになります。工期の遅れや地盤の状況、横連絡杭等について、情報が明らかにされておらず問題があります。

現在掘進している地点は、調布市のつつじが丘での陥没・空洞事故後の追加ボーリング結果で、事業者が事故の要因とした「特殊な地盤」に類似する地層とされている地域です。

掘進地点は「特殊な地盤」 杉並区にも

しかし、一般質問ではシールドマシンの掘進に遅れが出ており、区内到達は秋以降になることが示されました。

現在、外環道については、調布市での事故が発生した本線南側では工事が停止していますが、北側の練馬区間では工事を再開。2025年8月中旬以降、杉並区内にシールドマシンが到達する見通しであることが説明されてきました。

外環シールドマシンに遅れ 到達は秋以降

現在、外環道については、調布市での事故が発生した本線南側では工事が停止していますが、北側の練馬区間では工事を再開。2025年8月中旬以降、杉並区内にシールドマシンが到達する見通しであることが説明されてきました。

### 新たに家屋調査を実施しています

シールドトンネル工事の掘進作業等により、万が一、工事の施工に起因する建物等の損害が発生した場合、損害に対する補償が行なわれます。

工事実施前の建物等の状況を把握する家屋調査が実施されています。万が一に備え、家屋調査を実施してください。

家屋調査をご希望される方は、下記までご連絡ください。※杉並区内担当窓口の事業者。

東日本高速道路株式会社関東支社

東京外環工事事務局

TEL：0120-861-305（フリーコール）

受付時間：平日9時～17時30分



一般質問内容は区議会ホームページに掲載しています。また、杉並区議会ホームページでの閲覧も可能です（左QRコードをご利用ください）。

一般質問において、国との検討状況を確認したところ、相談窓口については地域住民がいつでも相談できる体制について事業者と調整しており、説明会についても開催日時や会場を含め開催に向けた調整を行っているとの答弁がありました。引き続き、速やかな実施を求めていきます。



一般質問において、国との検討状況を確認したところ、相談窓口については地域住民がいつでも相談できる体制について事業者と調整しており、説明会についても開催日時や会場を含め開催に向けた調整を行っているとの答弁がありました。引き続き、速やかな実施を求めていきます。

説明責任を果たすよう要請

本年1月27日、杉並区議会の23名の議員が連名で、東京外かく環状国道事務所緊急要請を行ない、シールドトンネル工事が杉並区内での掘進を開始する際、「外環道掘削工事等に関する相談コーナーを杉並区内に設置すること」「区内での掘進を開始する前に、情報の透明性確保に努め、オープンハウスとは別に地元説明会を開催すること」を求めました。※詳細は週刊ニュース527号参照。